



Web Fairy Paradise

第33号

今月のフェアリー詰将棋

- ・ 第31回WFPフェアリー作品展
- ・ 第42回推理将棋出題
- ・ 第10回詰四会フェアリー作品展

結果発表

- ・ 第30回WFPフェアリー作品展
- ・ 第41回推理将棋出題

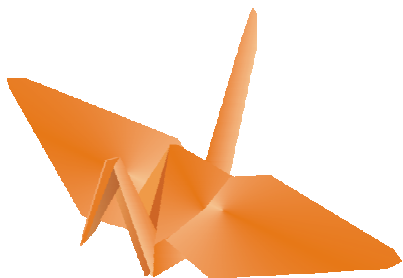
読み物

- ・ がんばろう日本！祈念作品展作品募集！
- ・ Fairy Top IX 2010お気に入り投票要項



2011/3

はじめに



この度、東北関東大震災において被災されました皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

皆さん御存知の通り、3月11日午後2時46分にマグニチュード9.0の地震が発生し、今現在で死亡・行方不明者が2万人に近いという甚大な被害をもたらしました。ニュース報道を見るにつけ特に津波の恐ろしさを痛感せざるを得ません。私も過去に台風により床上浸水や一週間程度の断水、停電など経験しましたが、その時の苦労を思い出しては、それとは比べ物にならないほどの被害の大きさに胸を痛めつけられる思いです。まだ行方不明の方が数多くいらっしゃいます。早く安否が確認されることを、避難所で生活されている方や救援物資が不足している場所へ早く応援の手が差し伸べられますよう祈っています。今こそ日本が1つにならないといけません。

広島生まれの私は小さいときから原爆投下直後の焼け野原の写真を見てきました。東北沿岸の津波被害地はまさに同じような惨状に見えてしまいます。戦争と自然災害という原因は異なりますが……。広島や長崎の平和祈念公園には今でもたくさんの折り鶴が集まります。折るという字は祈るという字に似ています。1つ1つの折り鶴がたくさん集まって「千羽鶴」に……。1人1人の小さな協力でも集まれば大きな力になるとことを……。その意識を持つことが大切だと思います。

今回ささやかですが、「がんばろう東北！がんばろう関東！がんばろう日本！」被災された方々を元気付ける作品展を開催しようと思います。（フェアリー）詰将棋で何が出来るのか？その効果は微々たるものかもしれませんが、何かをせずにはられません。

【 募 集 】

作品

フェアリー作品、PG、推理将棋はそれぞれの投稿先へ投稿下さい。

読み物

フェアリー詰将棋に関するものに限らず日常のことも研究物でも4コマ漫画からパロディ、イラスト、マイベスト10、自己紹介、何でもOKです。

感想

第33号の感想、今後の要望、ご意見等なんでも結構です。是非メールにて私まで

皆様の反応が私の意欲に成りますので是非ご協力をお願いします。

読み物、感想の投稿はこちらまで

たくぼん：takuji@dokidoki.ne.jp

協力いただいている方々のHPアドレス

* ご協力感謝します

妖精都市

<http://www.geocities.jp/cavesfairy/>

詰将棋メモ

<http://toybox.tea-nifty.com/>

詰将棋おもちゃ箱

<http://www.ne.jp/asahi/tetsu/toybox/>

Onsite Fairy Mate

<http://www.abz.jp/~k7ro/>

K.Komine's Home Page

<http://19900504.web.fc2.com/index.html>

イラスト・素材提供：幻想素材サイトFirst Moon

<http://www.first-moon.com/>

* 表紙のイラストを使用させて頂いております。

まえがき & 今回の出題について

突然日本を襲った大災害。連日伝えられる悲報の数々。詰将棋界でも困難を余儀なくされている方々がいらっしゃいます。ここ数日は被災していない私ですら気が滅入り、筆が進まなくなっていました。

そんな中、とても勇気づけられる映像を目にしました。それは長時間閉じ込められ、ようやく救助された直後に、明るい笑顔で「また再建しましょう」と語った被災者の姿です。(http://www.youtube.com/watch?v=2zeroCZSrjo)

被災された方に励まされるというのは逆のような感じですが、本当の強さとはこういうことなのでしょう。不幸に遭われた方がいるからといって、私たちまで沈んだ気分になってしまっはけません。震災に遭われた方が早く元の生活に戻られることを願うと同時に、私たちは日々の営みを着実に続けるべきだと思います。

さて、今回の出題はたくぼん氏の投稿作2題と担当の2題です。作者曰く31-2は「ちょっとだけ謎シリーズ1」とか。「シリーズ」ということは続編があるということですから、後続作も楽しみです。担当の作は「安騎」「騎面」という「騎」（八方桂あるいはチェスのナイト）にちなんだ変身ルールです。直近ではWFP29号の北村氏の「安騎」の作品が出題されていますので、参考にしてください。

解答要項

解答締切：2011年4月15日（金）
宛先：janacek789@ybb.ne.jp
メールの件名に「解答」の語句を入れて下さい。

作品投稿について

作品投稿は随時受け付けます。（毎月15日の投稿まで当月号に掲載します。）宛先は解答と同じjanacek789@ybb.ne.jpへ。メールの件名に「作品投稿」の語句を入れてください。

ルール説明

【キルケ】

駒が取られると最も近い将棋での指し始め位置に戻される。戻せないときは持駒になる。

【協力白玉詰】

先後協力して最短手数で攻方の王を詰める。

【騎面】

八方桂の位置に敵駒があるとその利きに駒の利きが変わる。異なる複数の敵駒がある場合はそれらを合成した利きが変わる。

【協力詰】

先後協力して最短手数で受方の玉を詰める。

【安騎】

八方桂の位置に味方駒があるとその利きに駒の利きが変わる。異なる複数の味方駒がある場合はそれらを合成した駒の利きが変わる。

【成禁】

手順中に成る手があってはならない。

■ 31-1 たくぼん氏作

キルケ協力白玉詰 14手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
						王			八
王	王								九

持駒 角

■ 31-2 たくぼん氏作

協力詰 35手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
								歩	二
と	王					皇	歩	と	三
皇	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩		四
						科	皇		五
					角	科	皇		六
		皇	歩	歩	歩	金			七
皇		桂				角		王	八
	王					玉		皇	九

持駒 桂 歩2

■ 31-3 神無七郎作
 騎面協力詰 15手
 9 8 7 6 5 4 3 2 1

	歩								
						王			

持駒 歩

■ 31-4 神無七郎作 (受先)
 安騎成禁協力詰 28手
 9 8 7 6 5 4 3 2 1

歩	歩							歩	歩

持駒 歩9

以上



詰将棋メモ 2011/3/5 出題

推 理 将 棋 第 4 2 回 出 題

将棋についての会話をヒントに将棋の指し手を復元するパズル、推理将棋の第42回出題です。はじめての方は

どんな将棋だったの? - 推理将棋入門

(http://toybox.tea-nifty.com/memo/2007/05/post_53f2.html) をごらんください。

解答、感想はメールで2011年3月20日までに TETSU まで (omochabako@nifty.com) メールの題名は「推理将棋第42回解答」でお願いします。

推理将棋第42回出題 担当 タラパパ

推理将棋の基本に、最短手数で○○をするにはどうするか? を考える遊びがあります。龍を玉とみなして最短で詰めるとか、最短で飛車を成るには何手かかるか? とか。

初級はそんな基本問題です。最短で相手の香頭に歩を打つ手順は6手ですが、同じ筋に終始します。では同じ筋を自分が使わずに歩を打つなら? という問題。

中級は渋い謎かけ問題。「金気の手が7手目だけ」が困った条件。

上級は都合により自作に差し替えました。差し替え前の作品に較べると、だいぶ見劣りする作品ですが(汗)。

さて3年近く担当してきたこのコーナー、年度の変わり目となる今月で私の選題は最後になります。来月から担当されるのは、今やこの人なくして推理将棋を語れない実力者 DD++ さんです。新担当者へのご祝儀は、奮って解答いただくことと初級問題の投稿♪

鋭い視点で新しい道を切り拓いてきた氏が、当コーナーに新風を吹き込んでくれることでしょう。ようやく私は解答のほうに回れます(^^)

42-1 初級 魚熊さん作

京都府の将棋

7手

ご当地ソングならぬご当地推理将棋。さっと片付けましょう。

4 2 - 2 中級 ○術師さん作
一番奥への歩成 10 手

自陣から進むと最奥まで6手の歩み。打って成る訳ですがどこに？

4 2 - 3 上級 タラパパ作
一段目に歩の手が2回 11 手

先手・後手、どちらか一方が2回はさすがに無理。とすると？

追加ヒント (3月17日 タラパパ)
私の出す最後のヒントです。

初級：追加ヒントはありません。条件外しの筋を答えないようにご注意ください。

中級：角が大活躍します。

上級：歩の手が7回。飛車は動きません。

4 2 - 1 初級 魚熊さん作
京都府の将棋 7 手

「『京都府の将棋』を指したんだって？」
「いや単に7手目に相手の香の頭に歩を打っただけなんだけど」
「なんだ『香頭歩』か」
「成る手はなかったし、同じ人が1つの筋の手を2回指した事もなかったよ」

(条件)

- ・ 7手目に後手の香の頭に歩を打った
- ・ 成る手なし
- ・ 先後とも1つの筋の着手は1回だけ

※解答は7手目までの手順を求めています。言うまでもありませんが最終形は詰みではありませんので、お間違いのないよう。

4 2 - 2 中級 ○術師さん作
一番奥への歩成 10 手

「10手目、敵陣一番奥への歩成まで、と」
「成る手はこの10手目だけだったね・・・不成もあったのに」
「金気の手が7手目だけとは少なかったんじゃない？」

(条件)

- ・ 10手で詰んだ
- ・ 成る手は10手目の9段目への歩成だけだった
- ・ 不成があった
- ・ 金気(=金銀)の指し手は7手目のみだった

4 2 - 3 上級 タラパパ作
一段目に歩の手が2回 11 手

「珍しい将棋を見たよ。11手で詰んだんだけど、一段目に歩の手が・・・」
「どうせ歩成だろ？そんなの珍しくも何ともないさ」

「慌てないで最後まで聞けよ。一段目に歩の手が2回もあったんだ。珍しいだろ？しかも不成なんて手も出てきたんだ」

「不成も別に珍しくはないけど・・・読めてきたぞ、で4手目は何だった？」

「同歩だね」

「それで全手順が分かったよ」

(条件)

- ・ 11手
- ・ 4手目は同歩
- ・ 不成があった
- ・ 一段目に歩の手が2回

第10回 詰四会フェアリー作品展

課題：馬が頑張っている作品

今回の応募作は2作。しかし解答者にとってはかなりハードなラインナップとなりました。難解度が高いので解答締切を一ヶ月延ばしています。我こそはと思う方は是非チャレンジを！

【ルール】

協力白玉詰：先後協力して最短手数で攻方の玉を詰める。

【解答締切】5月15日（日）

【解答宛先】takuji@dokidoki.ne.jp

第1番 雲海作

協力白玉詰 306手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

			歩	馬				馬	王	一
		金	金	金		ス	銀	馬		二
歩	銀	金	桂							三
桂	歩									四
				香						五
				皇						六
	王				桂	桂	銀	馬		七
		皇		歩	皇	銀				八
										九

持駒 歩12

第2番

一乗谷酔象 作

【推理将棋】馬ががんばった堂々巡り

「4手目から『同X』を連続して60手で勝ったんだ。同々の最長手数を達成したよ」

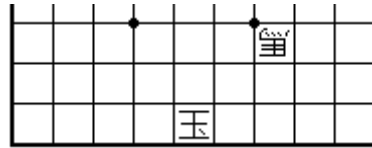
「まさか。ホントかい？理論上は58手が最長と聞いていたんだけど」

「馬が頑張った将棋だったよ。馬を取った角は、成ってから7種の駒を取ったんだ」

「まさか。ホントかい？角が品切れで残りは6種のはずだけど」

「そうなんだ。この局面を見てくれよ。」

--- (図は 58 手目 初王手の局面) -----



「58手目に37同馬と初王手を掛けた局面なんだ。ここで、合駒のない先手は、玉自ら48に突撃してきたので、60手目にありがたく48同馬と取ったのさ」

「なんだ59手目は反則だったか。もう少し詳しい手順を教えてくださいよ」

「後手の大駒が活躍したよ。後手は8回続けて大駒を動かした。3回連続飛車の手もあったし、3回連続角の手もあった。角が成った後、成ったばかりの馬が次の手から3回連続動いた。馬は、角以外の6種の駒を取った後、最後に玉を取ったんだ」

「ほかにはどんな手があったの？」

「22手目と46手目に金を取ったし、16手目と28手目は成香を取った。香が成って飛を取る手があった。端の香打ちがあった。不成はなかった」

（条件）

- 1) 4手目以降は「同X」の連続。
- 2) 先手王の条件：
 - ・58手目37同馬（初王手）に対し、48玉（反則手）と指し、同馬と取られた。
- 3) 後手大駒の条件：
 - ・馬は7種の駒を取った。
 - ・（角が成ったすぐ次の手から）3回連続馬の着手あり
 - ・3回連続角の着手あり
 - ・3回連続飛の着手あり
 - ・8回連続大駒の着手あり
- 4) その他
 - ・22手目と46手目は金を取る手
 - ・16手目と28手目は成香を取る手
 - ・香が成って飛を取る手あり
 - ・端の香打ちあり
 - ・不成はなかった

さて馬ががんばった「同々」最長手順とは、どんな将棋だったでしょう。推理してください。

第 30 回 WFP 作品 展 結 果

担当：神無七郎

今回の解答者は 2 名。被災地域にお住いの小峰さんから解答を戴きましたが、これは地震発生 5 日前に送られていた解答でした。

この原稿を書いている時点でも、各種被害や事故の情報が次々に入ってきます。すべての方に早く日常が戻り、以前と同様心置きなく詰将棋を楽しめるような状態が戻ることを願いつつ、この結果稿をお届けします。

〔正解者〕

【全題】たくぼん

【2 題】小峰

■ 30-1 神無太郎氏作

安南協力自玉スタイルメイト 12手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
王									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
								王	九

持駒 角 金 銀 2

【ルール】

安南

味方の駒が縦に並ぶと、上の駒の利きは下の駒の利きになる。

協力自玉スタイルメイト

先後協力して最短手数で攻方の王をスタイルメイト（王手は掛かっていないが、合法手のない状態）にする。

【解答】

19 角 82 角 81 金 同玉 18 王 27 飛
72 銀 同角 82 角成 同玉 73 銀 同玉
まで 12 手

(最終形)

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
		馬							二
		王							三
									四
									五
									六
							飛		七
								王	八
									九

持駒 なし

【解説】

攻方の王が 29 にいるため、普通に考えるとスタイルメイトにするには 2 枚の駒を発生させることが必要になります。（例えば 48 龍と 82 角を発生させる形を想定してください。）ところが持駒にある飛び道具は角が 1 枚なので、合駒させる駒が足りません。ここで「安南」による解決策が頭に浮かびます。角の頭に駒を打てば、それが 2 枚目の角の代わりになるからです。ところが、本局はそれではまだ解けません。角の頭に駒を打った後、スタイルメイトにするため、今度は打った駒を捨てなければいけません。それはこの手数ではとても無理です。そこでもう一捻り。角頭に持駒を打つ代わりに王を載せて、王自ら王手を掛ける手がありました！それが 19 角～ 18 王の手順です。

この手さえ思い付けば正解に至るのは時間の問題だと思いますが、最後には受方の玉も角に変身し、攻方王の変身と見事な対応を見せています。双裸玉というこれ以上ない簡潔な初形から、この様式美を備えた手順を紡ぎだす作者の手際はさすがだと思います。

たくぼんさん

角合で玉を下段に飛ばす筋をしばらく追っていました。72 同角がちよっと盲点でした。

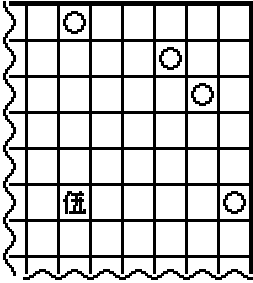
☆ なるほど合駒 2 枚の代わりに、玉を飛ばして対応しようとしたわけですか。確かにこれもポピュラーな手法ではありますが、本局は違いました。横歩きする角もちょっと珍しいですね。

【ルール】

Five-Leaper 王

玉の利きが Five-Leaper (伍と表記) となる。

Five-Leaper は距離 5 のマスに跳ぶ駒。



(○が伍の利き)

協力千日手

先後協力して最短手数で初形局面に戻す。

【解答】

19 飛 41 伍 32 角生 91 伍 11 飛生 96 伍
 91 飛生 59 伍 99 飛生 16 伍 43 角生 11 伍
 19 飛 61 伍 11 飛生 95 伍 91 飛生 69 伍
 87 角生 19 伍 99 飛生 14 伍 19 飛 51 伍
 11 飛生 94 伍 76 角 99 伍 91 飛生 49 伍
 99 飛生 15 伍 まで 32 手

【解説】

ルールだけ見るとやたら難しそうに見える本作ですが、実は今回の作品展で一番易しい作。

この作では、大きく跳ぶ駒 **Five-Leaper** (伍) が相手。となれば飛角で追うのが有力で、しかもルール協力千日手ですから、伍・飛・角以外の配置が動き出す可能性はほとんど考えられません。中央付近の駒配置が邪魔をしていることもあり、伍は飛角の王手に対して盤の周辺に沿って、ひたすら逃げ回ることになります。このことさえ頭に入れておけば、本作は伍・飛・角の追いかけっこを楽しめば良く、難しく考えるところは一切ありません。

本作を見て筆者は本間晨一氏の「愛の日」という作品を思い出しました。この作品は飛打飛合による周辺回りが作品の中心機構で、本作の特急列車的な手順に比べると、各駅停車の手順に見えますが、「角を方向転換に使う」という機構が連想の鍵になったのでしょうか。未見の方はぜひこちらも解いてみてください。

(参考図) 詰将棋パラダイス 1981年2月

本間晨一作「愛の日」

詰将棋 173手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
		歩	歩	歩	歩	歩	歩		二
	皇	入	入	入	入	入			三
		桂	桂	科	入		皇		四
	歩	銀		金	と	桂			五
			金	角		歩			六
		銀	金	馬	金	銀	歩		七
	香	歩	歩	歩	歩		香	飛	八
							王	皇	九

持駒 なし

(解答は本稿最後に掲載しています)

小峰 さん

Five-Leaper の利きにはなかなか目が慣れませんが、手詰まりにならないように進めていったら元に戻った。なるほど 16 手で反転して 32 手で千日手になるわけですね。ところで Leaper とか Rider とかの利き筋 (特に斜め方向) を独力で簡単に計算するにはどうしたら良いのだろうか？

☆私は脳内盤で詰将棋を解くと、斜めの筋がずれやすいのですが、これは皆さんも共通なものでしょうか。「伍」は特にズレが微妙なので、暗算ではやはりキツイと思います。Five-Leaper ならジャンプ箇所さえ押さえておけば良いので、少し慣れれば大丈夫かと思いますが、Five-Riderはどうでしょう…
 稼働箇所が少ないのでこちらも慣れ次第でしょうか。

たくぼん さん

適当に動かしていたら解けた。角を上手く使うのがポイントですね。飛と角のコンビネーションの組合せ次第では長いのも創れそう？

☆「伍」は1回ジャンプすると角筋から外れ、もう1回ジャンプしないと角筋に戻れません。この辺をうまく使うと凝った作ができ

るかもしれません。(予定があるかどうか
わかりませんが)北村氏の後続作に注目、
ですね。

■ 30-4 たくぼん氏作
強欲協力詰 103手

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
	金	歩	桂	歩	と		と			一
手	角		歩				ス			二
圭	歩		飛	香		ス	王			三
と		ス	駒	香		ス				四
	銀	玉	桂	歩	と	ス				五
	香		銀			ス				六
	ス			金	龍					七
	香			銀	ス					八
角	歩			金						九

持駒 なし

【ルール】

強欲

駒を取る手を優先して着手を選ぶ。

協力詰

先後協力して最短手数で受方の玉を詰ます。

【解答】

24 と 同と寄 12 と 同玉 18 龍 17 と
同龍 16 と 同龍 15 と 同龍 14 と
同龍 13 と同龍 同玉 41 香成 63 銀
14 歩 同玉 15 歩 同玉 16 歩 同玉
17 歩 同玉 18 歩 同玉 19 歩 同玉
63 桂生 82 圭 28 銀 同玉 38 金 同玉
39 歩 28 玉 37 銀 39 玉 48 銀 28 玉
37 銀 27 玉 36 銀 26 玉 35 銀 同玉
46 金 同玉 55 銀 45 玉 54 銀 34 玉
43 銀生 同玉 42 杏 同玉 41 と 同玉
51 桂成 同玉 61 歩成 同玉 71 金 同玉
82 圭 同玉 83 と 同玉 74 銀 同玉
66 桂 同金 75 歩 同玉 76 歩 86 玉
87 香 76 玉 77 歩 同金 88 桂 同金
77 歩 87 玉 88 歩 77 玉 87 歩 同玉
88 金 76 玉 77 金 65 玉 66 金 54 玉
55 金 43 玉 44 金 32 玉 33 金 21 玉
22 金 まで 103手

(詰上り)

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
								王		一
								金		二
										三
										四
										五
										六
										七
										八
角										九

持駒 なし

【作者のコメント】

相変わらずの強欲ばか詰煙です。

過去の収束を拝借してますが、本作の狙いの
最長手数のため。

手順は3手目と40手前後で少し考える位で
はないでしょうか。100手を何とか越えたの
で発表出来る作品になったと思います。

(まあ創っているのは私だけですが・・・)

【解説】

とりあえず初手と2手目はこれしかない所
ですが、3手目で少考を余儀なくされます。

ここはすぐに「18 龍」から「と金はがし」
に行く手と、「12 と 同玉」の手を挟んでか
ら「と金はがし」に行く2つの手段が考えられ
ます。後者だと「22 と」も消すことができ
るので、こちらを選ぶのが自然なのですが、後
の展開を見ないとどちらが良いかは判断でき
ません。

少しだけ凝って、「12 と 同玉」の筋で
「22 と」を消去しないことも可能(「と金は
がし」の最後の「13 と」を「13 歩」とす
れば良い)です。これだと「11 と」のみを消
去することができますが、そんな鬼のように難
しい伏線は多分入れないでしょう。

ということで、序は「12 と 同玉」から
「22 と」も消去する手だと仮定して、解図を
続行します。すると、36手目あたりから難し
い判断を要する局面を迎えます。

(途中図：36手目 38同玉)

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
	金	歩	桂		杏	と				一
	手		歩							二
	圭	歩	桂							三
	と		歩				香			四
	銀	歩			歩					五
	香			銀						六
	歩				金					七
	香				銀	王				八
角	歩									九

持駒 歩

ここから 37 金 48 玉 47 金 58 玉 67 銀 …とする紛れが有力ですが、残念ながら手が途切れてしまいます。正解はなけなしの歩を打ってしまう 39 歩！ちょっと勿体ないですが、これで金銀を活用でき、45 歩 34 香の 2 枚を「餌」にして上部に玉を誘導する展開に持ち込むことができます。ここさえ乗り越えれば、後は比較的易しい手順が続きます。収束では鮮やかな金の斜滑降が出現し、序の伏線で「22 と」を消した意味がようやく判明します。

強欲協力詰はルールの性質上短手数になり易く、今までの最長手数はたくぼん氏の 89 手詰でした。

(参考図) たくぼん作 WFP18 号 2009/12

強欲協力詰 89手

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
	歩	歩	歩	歩	と	歩	歩		王	一
	歩				と		歩			二
			香				歩			三
		香				桂				四
	馬		銀			金	歩	桂		五
	香	歩		歩	歩	歩	歩			六
	手			銀	歩	歩	銀	銀		七
	歩	と	歩		歩		龍			八
			飛			桂		角		九

持駒 なし

本作の序の「と金をはがし」、収束の「斜め金追い」は、ともに同氏の既発表作で用いられた手法ですが、それらを集めることにより最長手数を実現しています。ただ、今回の記録自体はまだまだ更新可能だと思います。我と思わん方の挑戦を期待します。

小峰 さん

37 ~ 50 手目でつまづいたが、それ以外は易しい。それでも 3 手目が 100 手後に利いて来る辺りはうまく出来ている。収束は看寿の煙詰を思い出しますね。

【総評等】

たくぼん さん

地震で被災された皆様に追悼の意を表します。(フェアリー) 詰将棋を通じて何か出来る事はないかを考える毎日です。

☆私も少額ながら義援金を送りました。詰棋人として何が出来るかは難しいですが、こんな時だからこそ本誌のような文化の砦を守っていくことに意義があると信じ、この原稿を書いています。

参考：原稿中で紹介した本間氏作の解答

19 飛 同玉 16 飛 18 飛 同飛 同玉 15 飛
 17 飛 同飛 同玉 15 飛 16 飛 同飛 同玉
 14 飛 15 飛 同飛 同玉 13 飛 14 飛 同飛
 同玉 12 飛 13 飛 同飛 同玉 11 飛 12 飛
 同飛 同玉 44 と 21 玉 51 飛 31 飛 同飛
 同玉 51 飛 41 飛 同飛 同玉 71 飛 51 飛
 同飛 同玉 81 飛 61 飛 同飛 同玉 91 飛
 71 飛 同飛 同玉 91 飛 81 飛 同飛 同玉
 82 歩 91 玉 94 飛 92 飛 同飛 同玉 95 飛
 93 飛 同飛 同玉 96 飛 94 飛 同飛 同玉
 96 飛 95 飛 同飛 同玉 98 飛 96 飛 同飛
 同玉 98 飛 97 飛 同飛 同玉 99 飛 98 飛
 同飛 同玉 65 角 99 玉 39 飛 89 飛 同飛
 同玉 59 飛 79 飛 同飛 同玉 59 飛 69 飛
 同飛 同玉 49 飛 59 飛 同飛 同玉 29 飛
 49 飛 同飛 同玉 19 飛 39 飛 同飛 同玉
 19 飛 29 飛 同飛 同玉 46 金 19 玉 17 飛
 18 飛 同飛 同玉 13 飛 17 飛 同飛 同玉
 15 飛 16 飛 同飛 同玉 12 飛 15 飛 同飛
 同玉 12 飛 14 飛 同飛 同玉 12 飛 13 飛
 同飛 同玉 11 飛 12 飛 同飛 同玉 56 角
 11 玉 31 飛 21 飛 同飛 同玉 41 飛 31 飛
 同飛 同玉 51 飛 41 飛 同飛 同玉 61 飛
 51 飛 同飛 同玉 71 飛 61 飛 同飛 同玉
 81 飛 71 飛 同飛 同玉 81 飛 まで 173手
 (上記の解は柿木将棋の出力を元にしていま
 す。飛の打ち場所や成生はほとんど非限定で
 す。) 以上

詰将棋メモ

推理将棋第 41 回出題解答

担当 タラパパ

出題日 : 2011年2月4日
 解答締切 : 2011年2月20日

推理将棋第 41 回解説 担当 タラパパ

東京でも雪がちらつき、まだまだ寒い日の多い今日この頃ですが、暦の上では春になりました。年度が変わり、新たな別れと巣立ちのある季節。私の担当もいつの間にか3年近くなりました。長いなあ～(^^)

41・1 初級 小春日和さん作 順序正しさは律儀に優る? 10手

「たった 10 手で詰んでしまいました、先手の敗因は何だったのでしょうか？」

「3 手目から律儀に、3・4・5・6 筋の順に指したことじゃろのお」

「では後手の勝因は？」

「4 手目から順序正しく、1・2・3・4 筋の順に指したことじゃよ」

(条件)

- ・ 10 手で詰んだ
- ・ 先手は 3 手目から 3・4・5・6 筋の順に指した
- ・ 後手は 4 手目から 1・2・3・4 筋の順に指した

出題のことば (担当 タラパパ)

活躍できる駒はほぼ限られています。

追加ヒント：

後手は 4 手目から最後まで同種駒の手を指しました。

推理将棋 41・1 解答

▲3 六歩、▽1 四歩、▲3 七桂、▽1 三桂、
 ▲4 六歩、▽2 五桂、▲5 八飛、▽3 七桂成、
 ▲6 八銀、▽4 七桂 まで 10 手。

詰上り図

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
一	香	桂	銀	飛	王	銀	桂		香	
二		飛						桂		
三	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩		
四									歩	
五										
六					歩	歩				
七	歩	歩	歩	歩	歩	桂	手	歩	歩	
八		角		銀	飛					
九	香	桂		金	王	金	銀		香	

持駒 なし

「3・4・5・6 筋の順」よりも「1・2・3・4 筋の順」のほうが、どうしても美しい。推理将棋でも美しい方が勝つようです。

この条件では、右サイドから攻撃してくる後手に協力して、先手玉が 1～4 筋の中段に出ることはできません。

角や歩を使って先手陣に近づける地点は頑張って 46 まで。となると「1・2・3・4 筋の順」で先手陣を脅かせる駒は、一手で二段先に進める桂しかありません。

49 迄跳んでしまうと目一杯 10 手使うので停止位置は 37。こう決まれば、あとは 37 で何か使える駒を取って打つまで。先手が 37 に送り込める駒というと、同じ筋の手は最大 2 回しか指せませんから桂しかなく、47 桂で吊るす後手の桂づくしの手順が固まります。あとは先手がせっせと玉の退路を塞ぐだけ。

ちなみに先手3・4・5・6筋の順の制約は手順前後対策ばかりでなく、飛や金を取らせて49に打つ順を消す意味もあります。ユーモラスな条件に解き易い手順でした。

まさ 「1筋ずつ動かすとなれば桂が定番。」

■一番遠い場所から、一番早く進める駒が桂ですから。

はてるま 「さらさらっとお茶漬けのような味わい。条件のうまさが光っています。」

■何局か見てきましたが、ちょっと新人離れしていますね。この作者。

はてるま 「これはいい。私好み。とっつき易くユーモアもある小品ですが、14角なんて巧まず見事に限定されているものですね。感心しました。」

■9手でユーモラスまで感じさせてくれて、夏休みさん、会心の作品ではないでしょうか。

NAO 「桂問題は楽しい。着手筋をずらす問題は桂が主役です。」

■桂馬という駒には、他の駒にない独特の魅力がありますね。

斧間徳子 「条件がきれいで良い。」

■ここまで親切でなくても限定できるのですが、どうせやるならここまで。

KG 「1筋からの攻めということで角か桂ですが第一感で桂かな、と。先手の桂を奪い取ることに気がつくまで少々手間取ってしまいました。」

■初解答ありがとうございます。これからもよろしく願います。

宮谷保可楽 「最終手が4筋なので47桂が手頃かな、と思うまでに1週間……。この条件でよく手順が制御できたな、と感心することしきり。」

■1・2・3・4筋と、使いにくい筋と順番ですから……。

superkuppabros 「1、2、3、4と動ける駒は桂馬しかないので、後は簡単。」

■24歩と突いても、24角と出ても先手の脅威になりませんものね。

館長 「3手目5手目が1筋2筋となれば桂の活用以外ありません」

■はい。特に2筋は攻撃に使えない筋ですから。

DD++ 「後手が1筋に着手して有効そうなのは角か桂ですが、角じゃ1マスずつしか前進できませんもんねえ。」

■隣の筋に指す条件になると、角の動きって歯がゆいですものね。

はらたっと 「後手の1筋2筋の手が無駄手じゃないとすれば桂連続跳ねしかない。」

■そ私もそう思います(^^)

たくぼん 「やはり桂ですよ。分かりやすい条件で適度な難易度の好作と思います。」

■先頭はこうでなくちゃ。

鈴木康夫 「ヒントをもらって最初は角か歩かと思いましたが。桂で詰まそうとすると49桂成までで紐をつけるのが不可能だと悩みました。」

■49まで進めてはいけません。そうか！もしかして、”4手目から最後まで同種駒”のヒントが仇に？！

S.Kimura 「後手の桂馬が出てくるとは意外でした」

■ほんとに？(笑)

みや 「後手の1筋に意味があるなら、これだろう、と。先手が3→6筋なら玉がでてくるの

もできないだろうし・・・でも、解図できたのは締め切りぎりぎりでした」

■そうなんです。解図の急所は玉が出てこれられないことなんです。

魚熊 「後手の”隣の筋への連続着手”は歩を突いていたのでは話にならず、角を世に出すのも無駄が多い。従って端から出て行くのは桂と仮定。とすれば 49 で駒を取りながらの詰みはあり得ないので、37 で駒を取って4筋に打つまで。そして 37 で取れる駒は条件から桂しかない。ここまでくれば以下容易。以上所用時間1分でした。」

■作品の解き方を論理的に示した解説文でした(^^)

正解：16名

魚熊さん S.Kimuraさん 斧間徳子さん
館長さん KGさん superkuppabrosさん
鈴木康夫さん たくぼんさん 躑躅さん
DD++さん NAOさん はてるまさん
はらたつとさん まささん みやさん
宮谷保可楽さん

41-2 中級 タラパパ作

止めはどれも銀(1)

11手

盛大に開催された、第41回推理将棋全国大会の会場にて。

ぼく「いやぁ派手な将棋を見たよ。先手が3手目に3筋で王手をかけたと思ったら、5手目は4筋で王手、7手目は5筋で王手と、次々に左隣の筋に移して、最後まで王手をかけ続けたんだ」

A君「僕もそんな将棋を見たよ」

B君「僕が見たのもそんな将棋だったね。これだけ対局があれば似た将棋もあるさ」

ぼく「でもね、最後まで大駒を成る手がなかったんだ。珍しいだろ？」

A君、B君「同じ同じ」

ぼく「え？まさか、止めは銀の手じゃないよね？」(※)

A君、B君「銀の手だったよ」

全員「どうやら僕たちは3人とも、同じ将棋を見ていたんだね」

ぼく「たった7手で詰まされた後手、気の毒で見えなかったよねえ」

A君「7手だって？違うさ、11手で詰んだんだよ」

B君「何言ってるんだ。15手だよ、15手で詰み。間違いない」

どうやら、3人とも別の将棋を見ていたようです。ぼくの見た将棋は、言うまでもなく76歩、54歩以下53銀までの7手なのですが、A君、B君の見た将棋とは？

(A君の見た将棋：条件)

- ・ 11手で詰み
- ・ 先手は3手目に3筋で王手をかけると、次々に左隣に着手を移して王手をかけ続けた
- ・ 大駒を成る手なし
- ・ 止めは銀の着手

※ 銀の手とは、銀を動かすあらゆる着手や銀を打つ手。成銀を動かす手は除かれます。

出題のことば(担当 タラパパ)

玉は7筋で詰んだようです。

追加ヒント：

止めは角筋に銀を成る手。

推理将棋41-2 解答 担当 タラパパ

▲7六歩、▽5二金右、▲3三角不成、▽4二銀、▲同角不成、▽6二玉、▲5三角不成、▽6一玉、▲6二銀、▽7二玉、▲7一銀成 まで11手。

詰り図

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
一	皇	科	全			王		科	皇	
二		飛	王		王			皇		
三	歩	歩	歩	歩	角	歩		歩	歩	
四										
五										
六			歩							
七	歩	歩		歩	歩	歩	歩	歩	歩	
八								飛		
九	香	桂	銀	金	王	金	銀	桂	香	

持駒 銀歩2

推理将棋の「手数」の基準について、考え方が二つあります。

(1) 手数は守るべき条件であり、構築される手順は手数を含めた全条件を満たさなければならない。

(2) 手数は参考であり、他の条件を全て満たす”より短手数の手順”があれば、それもまた条件を満たした”余詰順”である。

二つの考え方、推理将棋界でどうすべきか、まだ完全決着をみていません。

基準(2)を適用することで、はじめて不完全となる作品はレアであるため、幸い当コーナーで問題はでていませんが、詰将棋パラダイス誌で出題例があるように、全条件を守れば唯一手順でも、短手数を含めば複数手順存在する作品が、作者も気付かずに出題される可能性はあります。個人的に試みてみると、むしろ11手に10手の”余詰”、10手に9手の”余詰”など、先後逆転するケースが多そうです。作者もチェックしませんし。

ところで今回の出題コメントで、同一条件で先後逆転手順のある作品は1局だけと書きましたが、これは私の思い違いで、既発表に3作品が確認できました。その後、担当者が試みた試作4作など、現時点で基準(2)で不完全となる作品は10数局まで確認済みです。

こうした”余詰順”のある作品が偶然にせよ出題された時、作品が完全なのか、正答なのか誤答なのか、『判定不能』という訳にもいきませんから、暫定的にせよ当コーナーでの基準を明確化し、指針としなければなりません。いわばローカルルールです。

当コーナーでは「(1) 手数も守るべき条件」を支持し、運用していきたいと思います。

これを支持する理由を示すには実例が一番と、今月中上級問題を作りました。基準(2)を適用した場合、中上級問題は各「7手」「7手&11手」の余詰順がある”不完全作”ですが、「7手で余詰」と言われても違和感が拭えないのです。もちろん基準(1)が現在の多数派であることも、これを指針とした理由の一つです。

前置きが長くなりましたが、作品の解説に移ります。

11手で詰むなら止めは7筋の銀。止めに使う銀を王手で取れる場所は「42」か「71」だけ。条件から71銀を取って7筋に打つことはできず、「33角不成、42銀、同角不成」のセットが必須になります。そこで問題は、角または76歩と連携して、銀を最終手に7筋で詰めあげる形。81桂の利きを考えると73銀はなさそうですし、74玉に75銀も無理。そこで条件をもう一度見返すと、大駒は成れなくても小駒は成れる。ここから53角と連携した71銀成が想像できれば、62銀を王手で打つためには61を空けなければならないことが分かり、解決に至ります。

なぜ条件が「成る手なし」でなく「大駒を成る手なし」なのかを推し量れば、中上級のいずれかで銀成が出そうだと決め打ちするのも近道。

ところで問題文ですが、「次々に左隣に着手を移して」はいけませんでした。「次々に”左隣の筋”に着手を移して」でないと。失礼しました。

はてるま 「収束を推理するのが鍵ですね。」

■その通りです。それから。

まさ 「とどめは銀なので4手目は42銀に確定。収束形が見えるかが勝負。」

■そう、42銀が確定します。また。

NAO 「61を開けないと王手が続きません。」

■ということになります。

斧間徳子 「2手目の52金右は意外な一手でした。」

■こう順序だてて考えると必然のような気がしますけど・・・52金右は妙手なんだ！

KG 「3三角不成△4二銀▲同角不成はほぼ確定なので2手目にどんな手を指すかが重要です。6一の金を邪魔にならないところへ予め除けておくのが良い手（後手にとっては悪手ですがw）ですね。」

■はい。推理将棋の妙手って、悪手であればあるほど際立つから面白いですね。

宮谷保可楽 「最後は7筋での王手なんだけど、アレっと思いき問題文を読み直した。3兄弟のうちこの問題だけ、最終手が銀打ではなく銀成なのが、ちょっとしたアクセント。」

■アクセントというか、成り行きというか・・・(^_^)

superkuppabros 「7筋の詰みは、文面からも7一銀成までと決めてから解くと、あっさり決まりました。」

■そうそう、そこそこ。「”大駒”を成る手なし」がわざとらしい条件ですから。

館長 「7筋で詰ませるには6一金が邪魔です」

■それが意外に気付きにくかったりしません？

DD++ 「7筋の銀の手でトドメとくれば53角を紐に71銀成までと容易に想像がつかます

ね。しかし、検討はしてないですが7手と11手はタイトルにもなっている「とどめは銀」条件は実は外して大丈夫だったり？」

■そう言って下さる人をお待ちしていました(^_^)7手は外せますけど、11手は外せないんです。76歩、64歩、33角不成、42飛以下、飛車で金を取って75金まで。たぶん単に「成る手なし」条件ならこの手順に限定する？その場合、15手が成立しないのが辛いところ。

はらたっと 「しばし6筋の王手がかからず長考・・・61金が邪魔駒とわかり解決しました。」

■そう、盤上に61金がいなければ、手順が構築できるのです。そして金が手順の邪魔をしない位置が52。

たくぼん 「ヒントが良心的で、さすがに一目・・・ヒントが出るまで考えていない？のは内緒」

■内緒と言われるまでもなく、私だけは知っております（笑）

鈴木康夫 「6筋に銀を打つためにと2手目64歩の紛れに嵌りました。」

■そうこなくては！

S.Kimura 「71銀成に気付いて、何とか解きました」

■なんとなく”成”に違和感ありませんでした？ 作者はすごく違和感があります（笑）

魚熊 「上級が先に解けたため、こちらも中段に追い出すものと思いついで苦戦。73銀型の詰みはあり得ないし・・・とおもっていたらやっと2手目に思い当って詰み形が見えました。」

■銀ですから中段は苦しいんです。73銀型もおっしゃる通り。

正解：15名

魚熊さん S.Kimuraさん 斧間徳子さん
館長さん KGさん superkuppabrosさん
鈴木康夫さん たくぼんさん 躑躅さん
DD++さん NAOさん はてるまさん
はらたっとさん まささん 宮谷保可楽さん

41-3 上級 タラパパ作
止めはどれも銀(2) 15手

中級と同じ会話

(B君の見た将棋：条件)

- ・ 15手で詰み
- ・ 先手は3手目に3筋で王手をかけると、次々に左隣に着手を移して王手をかけ続けた
- ・ 大駒を成る手なし
- ・ 止めは銀の着手

出題のことば(担当 タラパパ)

玉が8~9筋まで逃げるために必要な2手目は?

追加ヒント:

止めは角筋に銀を打つ手。

推理将棋41-3 解答 担当 タラパパ

▲7六歩、▽7四歩、▲3三角不成、▽4二銀、▲同角不成、▽6二玉、▲5三角不成、▽7三玉、▲6四角不成、▽8四玉、▲7三角不成、▽8五玉、▲8六歩、▽9四玉、▲9五銀まで15手。

詰上り図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
皇	科	銀	金	金		科	皇		一
	飛						角		二
歩	歩	角	歩		歩		歩	歩	三
王		歩							四
銀									五
	歩	歩							六
歩			歩	歩	歩	歩	歩	歩	七
							飛		八
香	桂	銀	金	王	金	銀	桂	香	九

持駒 歩

手数から止めは9筋の銀の着手となります。少なくとも玉を8筋以遠に追うとなると、4手目に42飛と動かすか、2手目に6~9筋の歩を突いて上に逃がしてやるか、どちらか又は両方です。

4手目に42飛と動かした場合、71銀を取る手段は71飛不成に限られます。詰上がりは95銀と打つか、96銀と打つくらいなのですが、71飛不成の次の手がこれに繋がりません。

96銀と打つ場合、94の逃げ道をどう塞ぐのが課題。95銀と打つ場合には、95にどうヒモを付け、85の逃げ道を塞ぐのが課題になります。一方は解決可能で、もう一方は解決不能。そして可能なのは後者のほうです。

94を塞ぎかつ96銀を止めにするには、75角~86桂~96銀や85銀~96銀打くらいしか思いつきませんが、銀銀も銀桂も事前に手にするのは無理。73角不成~86歩~95銀が省エネの解決手段になります。

まさ 「案外41-2よりこっちの方が見えやすかった(笑)。」

■ 94玉の頭に銀と決めつければ、一瞬かもしれませぬ。

魚熊 「私にとっては中級と上級の難度が逆。こちらが先に解けてしまいました。」

■魚熊さんも上級が先でしたか。

NAO 「8筋の王手実現が難しく悩みました。64 から 73 への角生の活用がいい感触です。7手詰と合わせて3局セットの良問。いずれも後の銀活用を見越した2手目が鍵になりますね。」

■2手目がどれも違うのは面白いと思います。飛車で追う筋ですと、どうしても8筋での王手で挫折。

斧間徳子 「前問と本問は、ペアとして非常に面白い試みだと思います。（これらの作品をそれぞれ単独で評価しても意味がないですね）」

■単独では手順が弱いので、ぜひペアで評価を（汗）

KG 「実は最初、止めは銀と言う条件を忘れていたので▲3三角不成△4二飛▲同角不成から後手玉を隅に追いやる手順を考えていました。途中でそのことを思い出して、それなら後手玉を中段におびき出すしかないな、と思い直しました。すべての指し手がうまい具合に限定されているのがいいですね。」

■実は私をはじめ、その筋で3局同条件を探していました(^_^)

宮谷保可楽 「玉を9筋方面まで運ぶために、74歩と道を作ってやれば、あとは追い詰。それにしても、上級問題が40秒で解けるとは、思いもしなかった…。」

■いえいえ、そんなもんです。ある程度手数が多い問題は特に。

superkuppabros 「こっちは時間がかかり、4手目△4二飛を考えたりしてました（王手限定なので実際は無理なのですが）。13手目▲8六歩がなかなか感触のいい手でした。今回は全体的に簡単で解きやすかったです。ツインの片方は解けないことも多々あるのでこれぐらい

の問題は丁度いい感じでした^^では、よろしくお願いします。」

■実は夜中にハッと飛び起きて、「86歩の代わりに77桂で余詰だぁ〜！」なんてことができました（汗）読み筋だったのに。

館長 「9筋での詰みは8筋の後手玉位置は中段しかない。中段に行くには、7筋開放」

■はい、9筋に逃がしてあげなければならず、74歩が一番手っ取り早いんです。

DD++ 「76歩、92香、33角生、42飛、同角生、62玉、51角生、同金右、61飛、72玉、71飛、82玉、72飛、91玉、82銀まで」というおいしい順を見つけ、飛撤去と銀入手があまりにスムーズなため、作意は遠くないのだろうと近辺を数日うろうろ。まさか73から8筋の壁の上に出るとは。」

■おお！この手順の「51角生、同金右、61飛」はカッコイイですねえ。

はらたつと 「4手目42飛、同角生で71の銀入手から抜けられず大苦戦。追加ヒントで、頭銀打つには中段玉しかないことに気が付きました。」

■追加ヒントが役立ったという声を聞くと、それだけで嬉しくて(^_^)

たくぼん 「長いけれど分かり易い手順。同一条件で手数が別の作品の1号局としては上出来でしょう」

■同一条件で3種手数は1号局だと思いますが、2種だと1号局ではないのです。直近では（偶然ですが）23手と25手というケースも。

鈴木康夫 「中級より早く解けました。推理将棋の難易度は誰にも測り難いですね。」

■それが推理将棋なんですよ。つくづく感じます。

S.Kimura 「95銀で詰ませるのは予想して

いましたが、角と銀だけでは玉を捕まえられないので、金を取ったり、77 桂を入れたりしようと思苦八苦していました。角が巧妙に動いて、86 歩でしたか。」

■腹に弱点を持つ”なまず駒”が銀。86 歩がなまずの弱点をカバーする一手でした。

はてるま 「パズルチックな動きですが、勢い余って 66 角～ 75 角としてしまうとハマリ。86 歩が値千金の一手ですね。」

■ 64 角～ 75 角ですね？手の流れからは 73 より 75 に行きたくなりますよね。

正解：15名

魚熊さん S.Kimura さん 斧間徳子さん
館長さん KG さん superkuppabros さん
鈴木康夫さん たくぼんさん 躑躅さん
DD++ さん NAO さん はてるまさん
はらたつとさん まささん 宮谷保可楽さん

総評

はてるま 「今回の作品はどれもアイデア＋手順発掘系と思いますが、新しい発想はつきないものですね。」

■新しい方が新風を吹き込み、推理将棋もずいぶん進化してきたと感慨深いものがあります。

KG 「今回初挑戦でしたがなかなか楽しめました。骨休め問題だったみたいですが、それでも私にとっては結構頭を使う問題でした。」

■初解答ありがとうございます。今後ともよろしくをお願いします。

宮谷保可楽 「第 40 回は、身もココロもノーミソも荒れてましたのでパスしました。スイマセン。今月は少し落ち着いたのと、予想外に早

く解けたので、解答をお送りします。よろしくお願いたします。」

■気分の乗った時だけで結構ですので、末永くよろしくお願いいたします。

superkuppabros 「今回は珍しくノーヒントで解けましたので、早めに送らせていただきます。」

■ファンタスティック！

DD++ 「第 32 回からの連続採用記録が 9 回でついに途絶えてしまいました。残念ではありますが、よくよく考えると 9 回も連続で同じ人の作品が採用になる方が異常ですよ（笑）」

■え！まじですか？ 採用しておいて、ぜんぜん気付いてない（^^； う～ん、異常だ。

はらたつと 「広島への出張、新幹線の中でヒラメキました。のぞみ 23 号車中からメールします。」

■なんとなく嬉しいですね。こういうのって。

推理将棋第 4 1 回出題全解答者： 16名

魚熊さん S.Kimura さん 斧間徳子さん
館長さん KG さん superkuppabros さん
鈴木康夫さん たくぼんさん 躑躅さん
DD++ さん NAO さん はてるまさん
はらたつとさん まささん みやさん
宮谷保可楽さん

がんばろう日本！ 祈念作品展

作品募集

今回の東北関東大震災で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

今回の大震災は、まだ全貌が明らかにならないくらいの被害と日本全体に暗い影を落としました。WFPは今回、そんな東北、関東、いや日本全体が少しでも明るくなるよう、またより早い被災地の復興を祈念して作品展の開催を決めました。数多くの方々の参加をお願い致します。

・ ・ ・ 募集要項 ・ ・ ・

【作品】

- ・ フェアリー詰将棋（推理将棋、普通詰将棋含む）
- ・ 手数不問
- ・ 出来れば明るく楽しい気持ちになる作品、希望の光を感じる作品など「がんばろう日本！」をイメージした作品

【投稿条件】

- ・ 一人何作でも構いませんが、1作につきどんな形でも構いませんので大震災復興に協力下さい（義援金など）。もちろん証拠書類提出などは必要ありません。
- ・ 出題コメントを必ず添えてください。内容は何でも構いません。作品と一緒に出題時掲載します。

【スケジュール】

投稿締切：4月17日（日）
作品展開催：WFP4月号（34号）
解答締切：5月15日（日）
解答発表：WFP5月号（35号）

頑張ろう東北！ 頑張ろう関東！

頑張ろう日本！

Fairy Top IX 2010 投票要項

Fairy Top IXとはウェブサイトで発表されたフェアリー詰将棋・推理将棋・プルーフゲームを対象にお気に入り投票を行い、上位作に授賞するものです。Fairy Top IX 2010は2010年にウェブサイトで発表された作品の中からお気に入り投票によって選ばれます。

【投票宛先】

WFP事務局（たくぼん）宛にメールにてお願いします。 takuji@dokidoki.ne.jp

【スケジュール】

投票開始：2011年2月号発行日
投票締切：2011年3月31日
結果発表：WFP4月号（34号）

【対象】

2010年にWeb Fairy Paradise誌に掲載された作品（過去作の紹介作は除く）。詳しくはFairy Top IX 2010投票要項のHPに全作品を載せていますのでこちらで確認下さい。

Fairy Top IX 2010 投票要項アドレス

<http://www.dokidoki.ne.jp/home2/takuji/Fairytop92010.html>

【部門区分】

フェアリー詰将棋

短編部門：～15手

中編部門：16～49手

長編部門：50手～

推理将棋・プルーフゲーム部門

（手数区分なし）

以上4部門となります。

【投票の仕方】

お気に入り投票として実施しますので何作投票していただいても構いませんが、お気に入り上位3作には1位～3位までの明記下さい。投票の際には集計間違いを防ぐため下記の項目を記載いただくと助かります。

- ・ 部門名
- ・ WFP 何月号（または何号）
- ・ 作品展名（またはコーナー名）

- ・ (あれば) 作品番号
- ・ 作者名&ルール名&手数
- ・ 投票作品へのコメント (部門別及び全体通してのコメントも出来ればお願いします)

* なお後日発行の対象作品一覧には通し番号を打ってますのでそちらの記載でも構いません。

【投票集計方法】

投票順位に応じて作品毎に下記ポイントを加算し、各部門での合計ポイント順に授賞します。

- 1位：5点、
- 2位：3点
- 3位：2点
- 上記以外：1点

各部門得票数上位3作までが授賞となります。作者に授賞コメントをお願いすることになりますのでご協力よろしくをお願いします。

☆選考ではありませんので、全部の作品を見てなくても構いません。お気に入りの作品をお好きなだけ書いて投票いただければ結構です。1票でも得票がある作品はすべて4月号に掲載いたします。今年もたくさんの投票をよろしく願います。

解答募集締切一覧

ネットでのフェアリー詰将棋の解答募集締切一覧です。締切日が早いもの順です。解答先は各々異なりますのでお間違えにないように。

4月15日(火)

WFPフェアリー作品展
フェアリー詰将棋4題

5月17日(日)

第10回詰四会フェアリー作品展
協力白玉詰1題、推理将棋1題

作品募集締切一覧

4月15日(火)

Fairy of the Forest # 27

課題：強駒先打の協力詰

* 詳細は先月号をご覧ください
(投稿先)

→酒井博久 (sakai8kyuu@hotmail.com)

4月17日(日)

「第34回神無一族の氾濫」ゲスト参加募集

作品要件：玉が動いて王手するフェアリー作品

募集締切：2011年4月17日(日)

募集作品数：4 (+α)

送り先：神無七郎 (janacek789@ybb.ne.jp)

上記宛先へE-mailでお送りください。

備考：1人何作でも投稿可。

メールの件名に「作品投稿」の語を入れてください。採否は4月24日までに通知

あとがき

今はただ、たくさんの行方不明の皆様のお無事を祈るだけです。また福島第1原発においてわが身を犠牲にして作業されている皆さんに敬意を表します。たくぼん

2011年 第33号

Web Fairy Paradise

非売品

平成二十三年三月号

平成二十三年三月廿日発行

発行所 愛媛県新居浜市

発行兼編集人 須川卓二

発行所 Web Fairy Paradise 編集部

問合先

須川卓二 takuji@dokidoki.ne.jp